

四宮小学校等校庭での釘等の発見と今後の対応について

昨年4月に発生した区立荻窪小学校での事故を受け、昨年度、全ての区立学校等について、校庭の緊急点検を行うとともに、外部委託により金属探知機を使った校庭等の調査及び釘等の除去作業を行いました。また、運用面においては、ラインマーカー使用時の留意点などの安全管理の徹底を学校及び開放団体に周知し、再発防止を図ってきました。

しかしながら、今年9月に区立四宮小学校の校庭から釘等が新たに発見されたことが判明しました。これまでの経過と対応状況について報告します。

1 主な対応経過

9月8日（日）に学校開放で四宮小の校庭を使用した少年サッカー団体が、グラウンド内で釘があることを発見し、グラウンド全面を見て回ったところ、グラウンド中央のサッカーコート内の複数箇所から12本の釘等が見つかった。

学校は、9日（月）に開放団体に所属する児童からその旨を聞き、さらに12日（木）に開放団体に関係する保護者から連絡を受けた。そこで、授業等での使用開始前に目視による安全点検を行うほか、教職員による安全点検を行うことを決定し、17日（火）の放課後に教職員で校庭の目視による点検を行ったところ、主にグラウンド周辺部から11本の釘等が新たに発見された。

また、これら釘等は、古く錆びたものが多く、この1年間で新たに埋めたものとは考えづらいことも判明した。

教育委員会は17日（火）に学校から聞き、事実確認を行った上で、19日（木）に教育長及び区長部局に報告した。また、翌20日（金）に副校長会で全校に対し周知し注意喚起するとともに、同日中に、各校で目視による緊急点検を行うよう依頼した。

また、今回発見された四宮小学校では、連休中も校庭開放の予定があったことから、21日（土）の午前中に区職員により、地表付近の異物を調査したところ、新たに40本の釘等を発見し、除去した。

同24日（月）に、令和5年5月に発出した通知「学校で発生する事故の未然防止に向けた安全管理の徹底について」を各校に周知し、安全管理の再確認を求めた。

2 学校等による目視による緊急点検

各学校等において、9月25日までに目視による緊急点検を行った結果、四宮小学校以外の9校で計50本の釘等が発見された。内訳は、荻窪小で20本、西田小で13本のほか、桃二小、桃三小、高井戸小、高四小、浜田山小、三谷小、高井戸東小で各1～5本であった。中学校、子供園及び旧学校では発見されなかった。

3 区職員等による鉄製トンボ（レーキ）による調査

さらに、区職員等により、鉄製トンボ（レーキ）等により化粧砂を掻き分け、舗装面近くに釘等がないかの再点検を現在行っており、その実施状況は別紙のとおり。

4 今後の対応等について

（1）3の対応について引き続き実施し、10月18日までに完了予定。

（2）2で特に発見数が多かった学校3校（四宮小、荻窪小、西田小）については、金属探知機を使い、地表面から10cm範囲で釘等の調査・撤去を、10月12日から22日にかけて行う予定。